

各 位

上場会社名 株式会社 小松製作所
 代表者 代表取締役社長 大橋 徹二
 (コード番号 6301)
 問合せ先責任者 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 浦野 邦子
 (TEL 03-5561-2616)

連結ならびに個別業績予想の修正に関するお知らせ

本年4月25日に公表いたしました2014年3月期(2013年4月1日～2014年3月31日)の連結ならびに個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2014年3月期通期連結業績予想数値の修正(2013年4月1日～2014年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,050,000	305,000	297,000	184,000	193.12
今回修正予想(B)	1,860,000	210,000	209,000	136,000	142.69
増減額(B-A)	△190,000	△95,000	△88,000	△48,000	
増減率(%)	△9.3	△31.1	△29.6	△26.1	
(ご参考)前期実績(2013年3月期)	1,884,991	211,602	204,603	126,321	132.64

2014年3月期通期個別業績予想数値の修正(2013年4月1日～2014年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	790,000	175,000	137,000	143.71
今回修正予想(B)	700,000	145,000	125,000	131.07
増減額(B-A)	△90,000	△30,000	△12,000	
増減率(%)	△11.4	△17.1	△8.8	
(ご参考)前期実績(2013年3月期)	738,871	85,390	66,016	69.28

修正の理由

【連結業績予想】

建設機械・車両部門において、需要が堅調な日本や回復に転じた中国の販売数量は期初想定より上回るものの、資源価格の低迷による鉱山向けの機械需要が中南米、オセアニア、インドネシアを中心としたアジアなどで期初想定を大きく下回る水準で推移していることから、当部門の売上は本年4月25日に公表しました前回予想を下回る見通しとなりました。また、利益に関しても、建設機械・車両部門での販売数量の減少に加え、産業機械他部門では需要が低迷しているワイヤーソーの在庫の将来リスクに対する損失などを見込んでおり、前回予想を下回る見通しとなりました。このような状況を踏まえ、2014年3月期通期連結業績予想(2013年4月1日～2014年3月31日)につき、売上高および利益を修正いたします。

本業績予想の前提となる通期平均の為替レートは、1米ドル＝96.5円、1ユーロ＝125.6円、1人民元＝15.6円となります。(前回見通し1米ドル＝95円、1ユーロ＝123円、1人民元＝15.3円)

【個別業績予想】

連結業績予想の修正と同様に、建設機械・車両部門において鉱山機械の販売数量が減少する見通しであり、本年4月25日に公表しました2014年3月期通期個別業績予想(2013年4月1日～2014年3月31日)につき、売上高および利益を修正いたします。

(注記)

前述の将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。